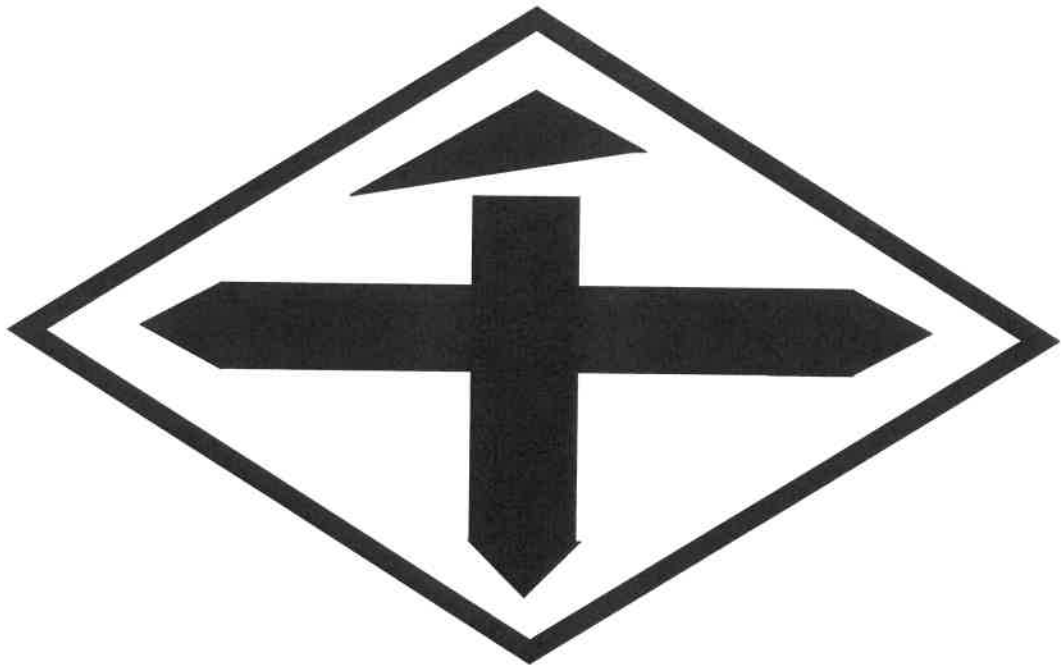


令和5年度

# 前期学校評価結果報告



八幡浜市立千丈小学校

## 第2回 学校関係者評価委員会

千丈小学校

1 日時 令和5年9月7日(木) 18:00~18:30

2 場所 千丈小学校 校長室

### 3 内容

#### (1) 開会あいさつ(学校長)

学校が始まって間もないが、全体的には落ち着いてスタートを切れたと感じている。今日は、本校の学校評価の結果を基に、成果と課題、今後の取組について、それぞれの立場から忌憚のないご意見をいただければありがたい。

#### (2) 前期学校評価報告(教頭) ※別紙参照

#### (3) 意見交換(各委員さんより)

##### ○ 児童の様子について

・一般的に夏休み明けなどは、不登校や不登校傾向が多くなると言われているが、千丈小学校ではどうか。

→生活のリズムが戻りにくく体調を崩している児童は少しいるが、不登校や不登校傾向の児童はいない。ただ、それに安易に安心するのではなく、日々頑張っている子どもたちの、不安やつまずき、しんどさをしっかりキャッチできる体制を維持し、しっかりとケアしていく所存である。

##### ○ ゲーム・SNSの利用について

・小学校同様、中学校でも、ゲームやネット依存に近い生徒が散見される。小学校で細かな指導をしてもらっているのも、それが継続できるように、小・中での連携をしっかり行っていきたい。

##### ○ 教育相談について

・「困ったときに先生を頼ったり相談したりできる」の回答で、「あまり思わない」「思わない」の割合が高いと感じるが、どうなのか。

→敏感な児童は、教師に対して遠慮をしたり周囲の目を気にしたりし、相談できにくいことも考えられる。教育相談の在り方の改善や相談しやすい雰囲気づくり、児童と教師の関係性づくりに努める。

#### (4) その他

・来賓として運動会を観覧した。地区対抗リレーなど、地域が盛り上がる種目がなくなってきているが、児童数、家庭数の減少を考えると仕方がないと感じる。しかし、他の種目やダンスなどに工夫が凝らされ、児童が生き生きと躍動していて素晴らしい運動会だった。

#### (5) 閉会あいさつ(学校長)

貴重なご意見をいただき、大変ありがたい。学校評価の結果、この場で話し合ったことについて再度共通理解を図り、よりよい学校を目指して努力していくので、今後とも継続的なご指導、見守りをお願いしたい。

令和5年度 前期学校評価アンケートまとめ

1 各項目についての考察

(1) つながり大切に、共に伸び合う学校

児童、保護者ともに、「楽しく学校に通う」という観点では、おおむね肯定率が高い。多くの児童が、安定した学校生活を送ることができていることが分かる。しかし、少数ではあるが、マイナス評価の児童がいることに目を向け、それぞれの悩みやつまずきに個別の支援をし、すべての児童が充実した学校生活を送ることができるよう配慮していきたい。

(2) 基礎・基本の定着について

授業については、児童の評価からはおおむね肯定率が高くなっている。しかし、家庭での学習や読書については、保護者の評価が1.7~2.1と伸び悩んでいる。読書の日（月曜日）や自主学習（けてふれ学習）などの取組について、さらにしっかりとした指導や啓発を行い、継続した指導を続けたい。

(3) 思考力・判断力・表現力の育成について

ICTを活用した学習に教師も児童も慣れ、表現の場を広めたり、話合いの質を高めたりすることができつつある。タブレットを使ったドリル学習や記録の累積などにより、自他の伸びを確認し合うことが学習意欲の向上にもつながってきている。今後は、個人での思考する時間の確保、全体で議論し練り合う場面など、より主体的・対話的な学習を意識した授業改善を行っていきたい。

(4) 命を大切に教育の推進について

児童と保護者のゲームやSNSの利用についての回答にずれがある。（児20保18）家庭との連携や啓発を行いたい。1学期は、地震と津波を想定した垂直避難の訓練と、保護者との連携を図った引渡し訓練を実施した。しかし、家庭や地域にいるときの災害時の対応について、家庭で十分に共通理解が図れているとは言い難い。家庭用の災害時対応についての簡単なパンフレットや点検表などを作成して親子でチェックできるようにするなど、意識を高める工夫をしていく。

(5) 子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進について

児童、保護者ともに、教職員との信頼関係はおおむね良好だと言える。しかし、少数ではあるが、マイナス評価もある。言葉掛けや接し方など今後も配慮していきたい。粘り強さについては、評価しにくい部分がある。児童の頑張りを見逃さず、適切な評価、賞賛をしていきたい。

(6) 家庭との協力について

あいさつに関しては、児童・保護者共に肯定率が高い。お手伝いの習慣化については、児童自身の家族としての自覚や協力することの意義理解が重要になる。道徳や学級活動での指導はもちろん、家庭への協力を引き続き啓発していきたい。

2 今後の目標と対策

(1) 目標

後期学校評価アンケートでのマイナス評価「3…あまり思わない」「4…まったく思わない」の割合を減らす。また、児童評価平均1.20未満（前期1.31）、保護者評価1.50未満（前期1.63）となるようにする。

(2) 対策

学校評価アンケートで、肯定率が低い項目を改善できるよう、それらを意識した指導を日々継続していく。

<児童> ①災害時の対応 1.89 ②手伝いの奨励 1.63 ③相談しやすい環境づくり 1.46  
④表現の場や方法の工夫（ノート指導を含む） 1.44 ⑤基本的な生活習慣の定着 1.43

<保護者> ①家庭での読書週間 2.12 ②手伝いの奨励 2.00 ③災害時の対応 1.97

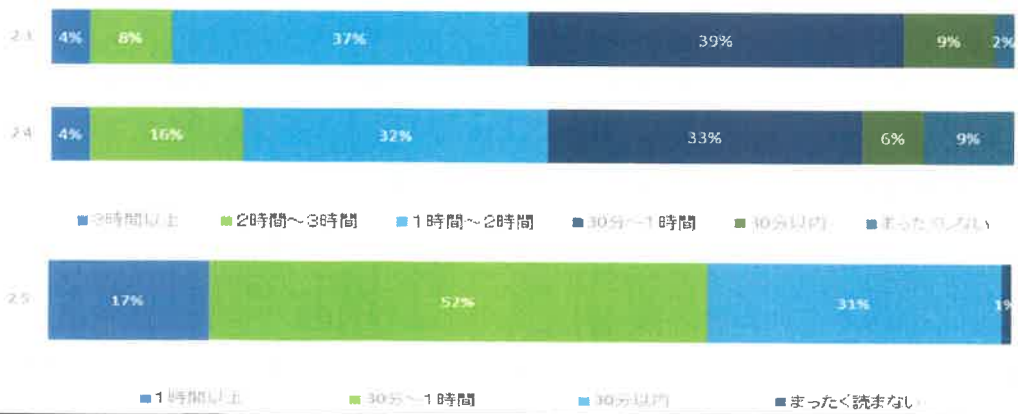
④ゲームやSNSとの適切な付き合い方 1.83 ⑤正しく判断・行動 1.81

		1	2	3	4	計	平均
1 つながり大切に、共に伸び合う学校							
児1	学校に行くのは、楽しい。	75	15	5	0	95	1.26
保1	お子様は、楽しく学校に通っている。	55	33	1	0	89	1.39
保護者の回答は、ほとんど「学校が楽しいと思っている。」であるが、児童の回答では、数名が「あまり楽しくない。」と感じている。児童がしんどいと感じるときも学校に登校して頑張っていることを、親も教師も認め、励ましていきたい。また、楽しくない原因が何か、学校生活での言動や児童の様子等から把握し、家庭と連携して個別に支援していくことが必要である。そのためには、教師が気持ちにゆとりを持って児童と関わる時間を確保することが必要だと考える。							

2 基礎・基本の定着（授業・チャレンジタイム・補充学習・読書活動）							
児2	授業には、楽しく参加している。	76	16	2	1	95	1.24
児3	授業は、分かりやすい。	69	31	1	1	95	1.24
児19	家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	75	11	6	3	95	1.34
児23	平日（月～金）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）	【下のグラフを参照】					
児24	休日（土、日、祝日）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）						
児25	読書の日（月曜日）には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。						
保2	学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	50	37	2	0	89	1.46
保16	お子様は、読書の日（月曜日）には、本を読んでいる。	23	36	26	4	89	2.12
保17	お子様は、宿題や自主学習（予習・復習等）をする習慣を身に付けている。	35	43	11	0	89	1.73

児19保17  
 昨年度からの「けテふれ学習（計画・テスト・ふり返り・練習）」の継続により、自主学習の取組は肯定率が高い。児童ががんばっていることを家庭にも分かるように伝えたり、手本となるようなノートを通信にのせたり、みんなの様子が分かるように児童にも提示したりして、よりよい自主学習になるようにしていきたい。ただ、2～6年生は、数名ずつ取組が十分でない児童も見られるので、つまずきや家庭での状況を個別に把握し、指導に生かしていく。

保16  
 月曜日（ノーゲーム・ノーネットデー）が読書の日となっているが、昨年度前期1.56、昨年度後期1.69と比較して、2.12と大幅に数値が悪くなっている。学校では、子ども達は嬉しそうに色々な本を手にとっているが、家に図書の本を持って帰って読むという習慣がない子が増えているのかも知れない。今後も、声かけをしながら読書習慣が身に付くように工夫していく。



3 思考力・判断力・表現力の育成（主体的・対話的で深い学び、授業改善）							
児4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	63	24	6	2	95	1.44
児5	授業では、学級の友達と話し合う活動（ペア・グループ）をよくしている。	72	22	1	0	95	1.25
児6	授業では、chromebook（クロムブック）をよく使っている。	77	17	1	0	95	1.20
児7	chromebook（クロムブック）の使い方は分かる。（教えてもらった場合も含む）	87	7	1	0	95	1.09
児4～児7 肯定率が高く、昨年度と比較しても高まっている。							

4 命を大切にす教育の推進（心の教育・防災教育・情報教育）							
児9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり、遊んだりしている。	70	21	3	1	95	1.32
児10	友達に優しく接している。（同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む）	78	15	1	1	95	1.21
児11	学校のきまりが、守れている。	69	23	2	1	95	1.32
児12	学校では、自分や友達の安全に気をつけて行動している。	81	13	1	0	95	1.16
児13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいのか分かっている。	86	6	1	2	95	1.15
児22	家の人がいないときに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話をしている。	45	26	13	11	95	1.89
児20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	82	10	3	0	95	1.17
保4	学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	37	50	2	0	89	1.61
保5	学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。（感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。）	49	40	0	0	89	1.45
保6	学校は、自分や他の人の命を大切にす教育（心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育）の推進に努めている。	47	42	0	0	89	1.47
保7	学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	64	19	5	1	89	1.36
保11	お子様は、明るく思いやりのある子に育っている。	41	48	0	0	89	1.54
保12	お子様は、正しく判断し行動できる子に育っている。	21	64	4	0	89	1.81
保18	お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	36	34	17	2	89	1.83
保19	地震等の災害が起こった場合の対応を、お子様と話し合っている。（避難場所、連絡方法、保護者不在時の対	17	59	12	1	89	1.97

児9保4  
言葉使いについて、児童と保護者での意識に差がある。家での言葉使いがよくないと感じている保護者が多い。家での様子を保護者や児童に聞き実態を把握し指導に生かしていくとともに、学校での言葉遣いの指導の現状について、保護者に説明する必要がある。また、道徳や学級活動でも言葉の大切さを学習し、それを通信で知らせたり生活の中しっかりと指導したりしていきたい。

児20保18  
ゲームやSNSの利用時間やルールについて数値を見ると、保護者と子どもの差が大きい。児童はできている肯定率が高いが、保護者は厳しめの評価である。再度、親子で話し合う時間を設けてもらうとともに、個別対応が必要な児童については家庭と連携しながら、指導していく必要がある。

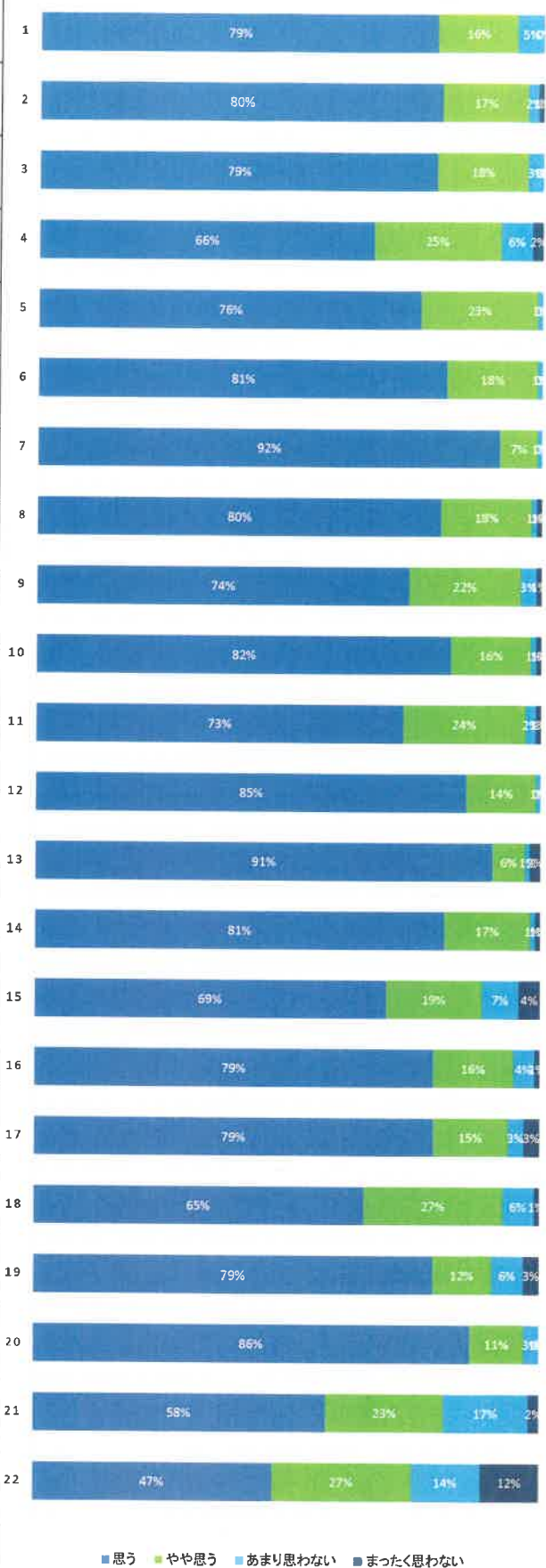
児22保19  
災害が起こったときについて、具体的な対応について親子で話し合い、いざというときに備えるよう、再度啓発したい。学校では避難訓練を定期的に行っているが、家庭用の災害時対応について簡単なパンフレットや点検表などを作成して、チェックできるようにすると意識が高まるかもしれない。

5	子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進（合い言葉は、「ぜったいにあきらめませんじょう！」）						
児14	先生は、あなたのことに、気をつけてくれている。	77	16	1	1	95	1.22
児15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	66	18	7	4	95	1.46
児16	むずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	75	15	4	1	95	1.27
保8	教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	47	37	5	0	89	1.53
保9	お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	56	29	4	0	89	1.42
保10	お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	24	61	4	0	89	1.78
保8～保10 思う・やや思う、合わせて高い割合となっているが、あまり思わない、との否定的な回答率も5%程度ある。 児15 頼ったり相談したりできにくい、との回答が10%を超えているのが気になる。教育相談の在り方や関係性の築き方について再度検討する。 児16保10 思う・やや思う、合わせて高い割合となっているが、保護者の「思う」の割合が児童より少なく、児童の頑張りが家庭には見えにくいのではないかと思われる。しっかりと頑張っている様子を伝えていく。							

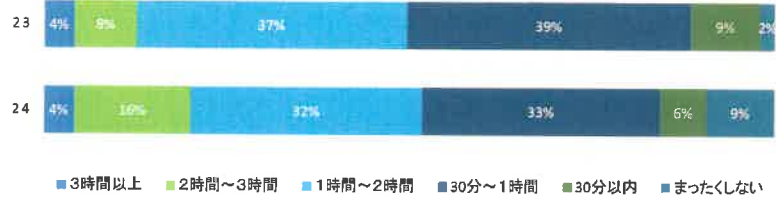
6	家庭の協力（基本的な生活習慣の育成、返事・挨拶、お手伝い）						
児8	進んで、あいさつやえしゃくをしている。	76	17	1	1	95	1.23
児17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	75	14	3	3	95	1.31
児18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	62	26	6	1	95	1.43
児21	家で、お手伝いをしている。	55	22	16	2	95	1.63
保13	お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	57	29	3	0	89	1.39
保14	お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的な生活習慣が身に付いている。	35	48	5	1	89	1.69
保15	お子様は、家で手伝いをしている	23	45	19	2	89	2.00
児8保13 挨拶については、児童も保護者も肯定率がとても高い。「千丈っ子にここに宣言」1つめにもあるように、「だれにでも明るく元気なあいさつをします」が実践できている。 児21保15 お手伝いについては、家庭による差が大きいですが、家族の一員として協力することの大切さやその価値について、道徳の時間の学習を通して理解させ、道徳的実践としてお手伝いに取り組もうとするような指導が必要になる。また、保護者に対しては、学級通信等で手伝いに取り組ませることの意義を伝え、協力をお願いしたい。 お手伝いについて、児童・保護者とも否定的意見が多かった。家庭の中で、家族の一人として日々をともに生活している以上、自分にもできることや役割がある、あるいはすべきことがある、と思うことは大事である。比較的できているという児童がしているお手伝いを学級通信で紹介したり、休日にはお手伝いの宿題を出したりするなど工夫し、意識化・習慣化を目指したい。							

令和5年度(前期)児童アンケート(1/2)		(95/95名) 回答率100%					平均
		1	2	3	4	計	
1	学校に行くのは、楽しい。	75	15	5	0	95	1.26
2	授業には、楽しく参加している。	76	16	2	1	95	1.24
3	授業は、分かりやすい。	75	17	3	0	95	1.24
4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	63	24	6	2	95	1.44
5	授業では、学級の友達と話し合う活動(ペア・グループ)をよくしている。	72	22	1	0	95	1.25
6	授業では、chromebook(クロムブック)をよく使っている。	77	17	1	0	95	1.20
7	chromebook(クロムブック)の使い方は分かる。(教えてもらった場合も含む)	87	7	1	0	95	1.09
8	進んで、あいさつやえしゃくをしている。	76	17	1	1	95	1.23
9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり、遊んだりしている。	70	21	3	1	95	1.32
10	友達に優しく接している。(同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む)	78	15	1	1	95	1.21
11	学校のきまりが、守れている。	69	23	2	1	95	1.32
12	学校では、自分や友達の安全に気をつけて行動している。	81	13	1	0	95	1.16
13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいのか分かっている。	86	6	1	2	95	1.15
14	先生は、あなたのことに、気をつけてくれている。	77	16	1	1	95	1.22
15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	66	18	7	4	95	1.46
16	わずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	75	15	4	1	95	1.27
17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	75	14	3	3	95	1.31
18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	62	26	6	1	95	1.43
19	家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	75	11	6	3	95	1.34
20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	82	10	3	0	95	1.17
21	家で、お手伝いをしている。	55	22	16	2	95	1.63
22	家の人がないときに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話している。	45	26	13	11	95	1.89

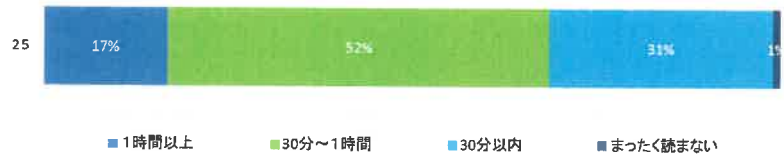
児童アンケートグラフ(1~22)



令和5年度(前期)児童アンケート(2/2)		3時間以上	2時間～3時間	1時間～2時間	30分～1時間	30分以内	まったくしない	計
23	平日(月～金)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	4	8	35	37	9	2	95
24	休日(土、日、祝日)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	4	15	30	31	6	9	95



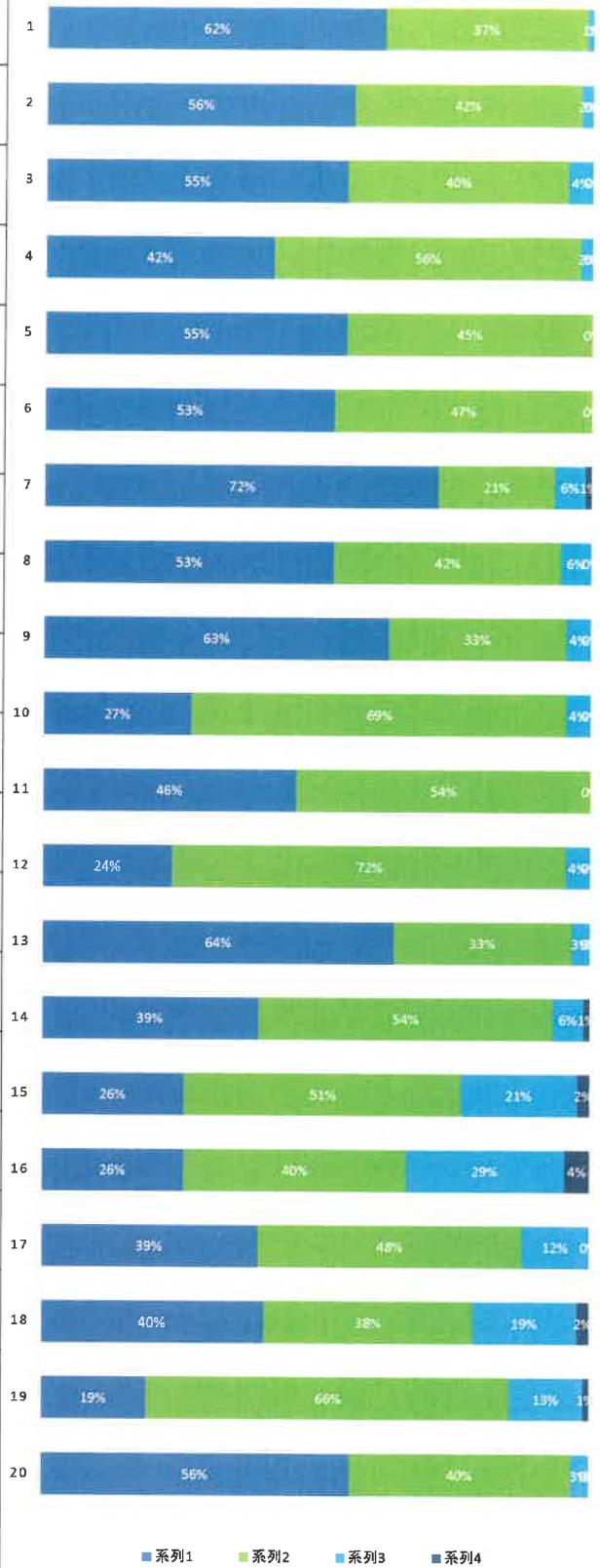
		1時間以上	30分～1時間	30分以内	まったく読まない	計
25	読書の日(月曜日)には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。	16	49	29	1	95





令和5年度(前期)保護者アンケート(1/2)		(89/95名) 回答率94%					平均
		1	2	3	4	計	
1	1. お子様は、楽しく学校に通っている。	55	33	1	0	89	1.39
2	2. 学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	50	37	2	0	89	1.46
3	3. 学校は、あいさつ運動の充実に努めている。	49	36	4	0	89	1.49
4	4. 学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	37	50	2	0	89	1.61
5	5. 学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。(感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。)	49	40	0	0	89	1.45
6	6. 学校は、自分や他の人の命を大切にす教育(心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育)の推進に努めている。	47	42	0	0	89	1.47
7	7. 学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	64	19	5	1	89	1.36
8	8. 教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	47	37	5	0	89	1.53
9	9. お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	56	29	4	0	89	1.42
10	10. お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	24	61	4	0	89	1.78
11	11. お子様は、明るく思いやりのある子に育っている。	41	48	0	0	89	1.54
12	12. お子様は、正しく判断し行動できる子に育っている。	21	64	4	0	89	1.81
13	13. お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	57	29	3	0	89	1.39
14	14. お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的生活習慣が身に付いている。	35	48	5	1	89	1.69
15	15. お子様は、家で手伝いをしている	23	45	19	2	89	2.00
16	16. お子様は、読書の日(月曜日)には、本を読んでいる。	23	36	26	4	89	2.12
17	17. お子様は、宿題や自主学習(予習・復習等)をする習慣を身に付けている。	35	43	11	0	89	1.73
18	18. お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	36	34	17	2	89	1.83
19	19. 地震等の災害が起こった場合の対応を、お子様と話し合っている。(避難場所、連絡方法、保護者不在時の対応等)	17	59	12	1	89	1.97
20	20. 家庭で、お子様と会話をよくしている。	50	36	3	0	89	1.47

保護者アンケートグラフ(1~20)



学校教育をよりよいものにするために、参考にさせていただきます。学校に対するご要望、ご提案、ご意見等ありましたらご自由に、お書きください。

★学校からの回答

①大事なことは、子どもからの話だけではよく分からないこともあるので、お便り等でお知らせしていただけるとありがたいです。↓↓↓

★学校にかかわる事柄について、保護者のみなさんが安心してお子さんに指導ができるよう、必要なことはお便りで伝えられるよう努めます。分かりにくいことや不安なことはご遠慮なく、職員室にお尋ねください。

②にこにこ宣言のお友達を『くん』『さん』づけで呼ぶのは、必要なのでしょうか？今まで小さい頃から仲良く呼びあっていたのに、急によそよそしく感じるのですが。それをするのも、そのねらいを明確に教えてもらえたら、子供も受け入れやすいとおもうのですが。

↓↓↓

★おっしゃるように、幼少のころからの関係性の中で、親しんで使ってきた呼び方が「自然」に感じられるという一面もあるかもしれません。ただ、近年は名前外の呼ばれ方を好まない児童が多くなってきています。きちんと名前前で呼ばない、呼ばれない（あだ名やニックネームを使う）ことで、いじめにつながる事例もとても多いのです。「さん」「くん」を付ける以外にも、親しみを込めた呼び方があるかも知れませんが、どこまでがよくて、どこからが望ましくないのか、線引きは難しいものです。やはり相手を尊重することを意識するためにも、学校では現在の指導を継続していきたいと考えています。児童には、発達段階に合わせて、説明をすることを心がけます。

③家庭で「今日学校どうだった？」と聞くと、◇年生になってから「○○くん（○○ちゃん）が叱られてた」という話を頻繁に耳にします。そのような話は聞き慣れたので少し不安になりますし、悲しい気持ちになります。6月頃の話になるのですが、授業で草引きをするようになっていたところ帽子を忘れた子が一人で教室で読書をさせられていたと聞きました。子どもから聞いた話なので詳しい状況まではわかりませんが、それが事実であるならば残念な気持ちになります。我が子はその日はたまたま帽子をかぶって行ったので忘れ物にはならず、みんなと草引きの授業ができたのですが、その日の朝は小雨も降っており（授業のときは晴れていました）必ず帽子が必要と連絡帳にも記載されていませんでした。我が子も帽子を忘れていたらみんなと一緒に活動させてもらえなかったのかなと思うとすごく悲しいです。そして、そのように一人だけ別の活動をさせるという状況は子どもたちのいじめにつながるのではないかと心配もします。どんな理由があれ一人だけ仲間はずれのような対応の仕方はどうかと考えます。

④忘れ物をしたり指示を聞いていない子を叱るのはやむを得ないと思いますが、その罰としてみんなと同じ活動（奉仕作業や席替え）をさせてもらえないのは胸が痛みます。子供達も、怒られて当然、またそれを冷やかして笑いにすることに疑問を感じていないような雰囲気もあり切なく感じます。クラス便りも新学期当初に一度もらっただけなので、クラスの様子もわかりませんが、実際の学年よりも、上の学年に求めているようなことを求めている印象で無理があるように感じます。またクラスのカラーとして、個人差も大きいように感じます。叱った後は、いつまでも反省時間を与えず許してあげてほしいです。

↓↓↓

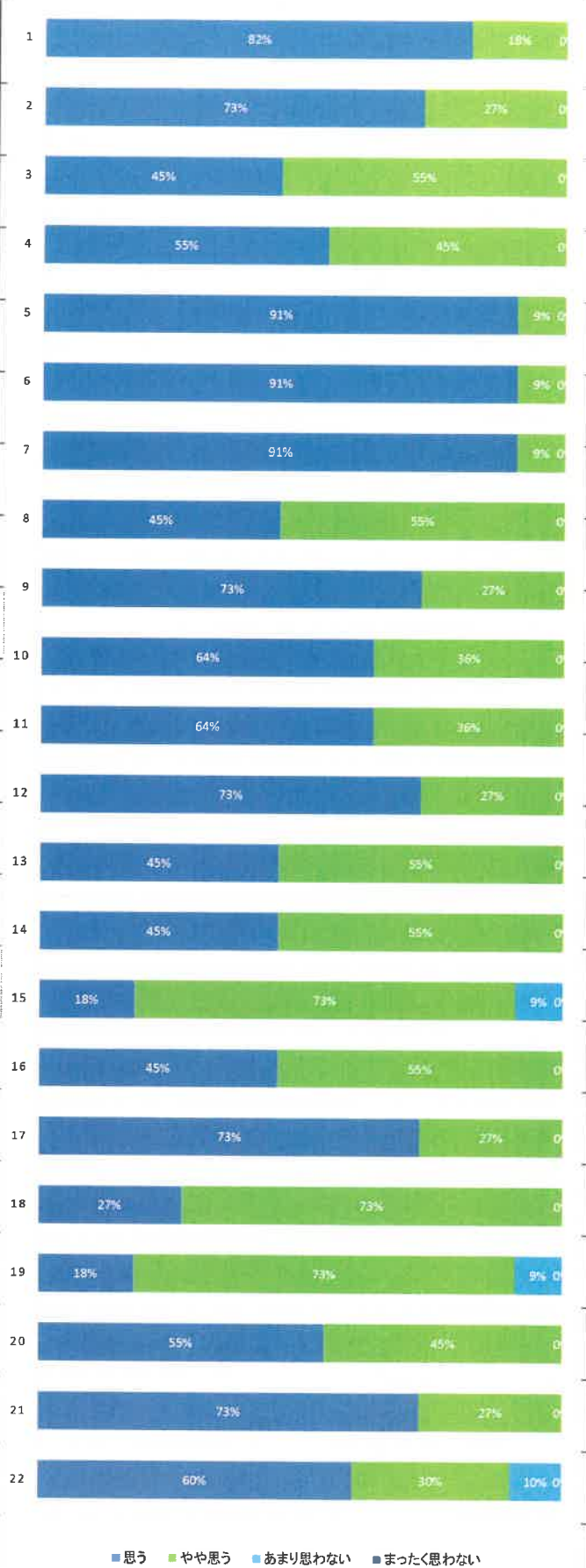
★健康面に配慮した対応や個に応じた学習指導のための対応、あるいは生徒指導上の対応など、様々な場面が想定されます。いずれにしても、叱ったり注意を促したりする際には、児童の自尊感情を傷つけたり、いじめを助長したりすることのないよう、細心の注意を払いながら、指導にあたります。特定の児童を別の場所で個別に指導をする際には、必要に応じて、周囲の児童にも可能な範囲で説明をするよう心がけます。

⑤昨年度。三学期中盤頃から、学校が楽しい。と言うようになりました。有り難い事です。

★ご家庭との連携の賜物です。今後ともよろしく願っています。

令和5年度(前期)教職員アンケート						
		1	2	3	4	計
1	1. 学校の教育目標【「つよく、やさしく、きまりよく生きる」千丈の子を育てる】の達成に向けて、指導や支援に努めたか。	9	2	0	0	11
2	2. 学習指導において、基礎・基本の確実な定着・向上に努めたか。	8	3	0	0	11
3	3. 分かりやすい授業を心掛け、授業改善に努めたか。	5	6	0	0	11
4	4. 主体的に考え、共に学び合う児童の育成(研究主題)に努めたか。	6	5	0	0	11
5	5. 教育活動中のICT機器の効果的な活用に努めたか。	10	1	0	0	11
6	6. 命を大切に教育の推進(心の教育・防災教育・情報教育・交通安全教育)に努めたか。	10	1	0	0	11
7	7. 教師自身が明るくさわやかな挨拶や返事をする心を心掛けるとともに、児童への挨拶や返事の指導に努めたか。	10	1	0	0	11
8	8. 児童の間違った行動に対して、毅然とした態度で指導するように努めたか。	5	6	0	0	11
9	9. 人権・同和教育の充実・改善に努め、児童が豊かな心をもてるよう、指導や支援に努めたか。	8	3	0	0	11
10	10. 児童の自尊感情を高めるために、一人一人を大切に指導や支援に努めたか。	7	4	0	0	11
11	11. 生徒指導上の問題(いじめ、非行、不登校等)の未然防止に向けた指導や支援に努めたか。	7	4	0	0	11
12	12. 安全な学校環境作りに努めたか。	8	3	0	0	11
13	13. 危機管理意識をもち、子どもの安全確保に努めたか。(新型コロナや熱中症の対応も含む)	5	6	0	0	11
14	14. 児童は、「めあてに向かって粘り強がんばる子」に育っている。	5	6	0	0	11
15	15. 児童は、「明るく思いやりのある子」に育っている。	2	8	1	0	11
16	16. 児童は、「正しく判断し行動できる子」に育っている。	5	6	0	0	11
17	17. 家庭と連携し、児童の学力向上や基本的な生活習慣の育成に努めたか。	8	3	0	0	11
18	18. 家庭と連携し、生徒指導上の問題についての早期対応に努めたか。	3	8	0	0	11
19	19. 家庭・地域と連携をとり、信頼される学校作りに努めたか。	2	8	1	0	11
20	20. ワークライフバランスを考え、家庭と仕事の両立に努めたか。	6	5	0	0	11
21	21. 働き方改革の意識をもち、業務改善、負担軽減となるよう努めたか。	8	3	0	0	11
22	22. 公文書や表簿類の適切な保管や正確かつ迅速な事務処理に努めたか。	6	3	1	0	10

教職員アンケートグラフ(1~22)



教育計画に基づいた番号	
	学校目標・校訓 (1 14 15 16)
	学習指導 (2 3 4 5)
	心の教育 (6 9 10)
	生徒指導 (7 8 11)
	安全・安心 (12 13)
	家庭との連携 (17 18 19)
	働き方改革 (20 21)
	事務管理 (22)
	<p>考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの項目においても8～9割教職員が肯定的な回答となっており、落ち着いて学校運営を進めることができている。その反面、教員減により一人一人の教職員の校務分掌が多くなり負担が増えているため、悩みを抱える教職員がいないか互いに声掛けや配慮をしながら、業務を進めていきたい。</li> <li>・家庭との連携や生徒指導については、学校全体で情報を共有し、一部の教職員で抱え込むことのないよう、チームでよりよい方法を考えていく。</li> <li>・ワークライフバランスや働き方改革については、肯定的な回答が多いが、更なる意識改革、行事・会議の精選等を行い、負担軽減を図りたい。</li> <li>・職員室の温かい雰囲気作りや何でも悩みを言い合える関係性づくりを心掛け、学校での業務と同様、教職員自身の家庭や健康を大切にする。</li> </ul>